

浅川改修計画原案の流域説明会 概要（長沼地区）

平成15年5月23日 19:00~20:50

長野市立長沼公民館

参加者：78名

Aさん

管理計画課長、浅川改良事務所長が来られているが、新幹線車輛基地受け入れに対し、どのような約束をしているか知っていて来ているのか。

回覧の必要部数を区長に送りつけているが、長野市には、回覧・配布物についてのルールがある。区長410人の常任理事会26人が審議して、回覧・配布を行うことになっている。このことを知っていて、今回の回覧を実施したのか。

直ノ橋において河川工事が始まっているが、今回の説明会に関係があるのか。区長に工事説明がなされていない。昨年のダム問題以来、県は当地区から逃げているようである。

県

新幹線車輛基地建設問題については、当所も県新幹線事務所も承知している。

田中知事の大きな施策転換、平成12年ダム中止により今日に至っている。昨年まで治水・利水ダム等検討委員会で1年程かけてダム有りダムなしで議論されてきた。下部組織の部会でも審議している。部会では公聴会も開催している。最終的に出た答申はダムなしであった。この答申を受け浅川は、河川改修単独案となった。答申での基本高水は330m³/sであったが、枠組みでは、県は従前の1/100の安全度は落とさず、約8割は河道で持たせる計画を立てた。下流及び天井川改修が済んでいる状態において、流量の見直しによりこれらもやり直すことは大変である。そこで先程示した河床掘削、嵩上げ、護岸の積み直し、拡幅となる。新幹線問題はこれから議論していく課題である。

回覧については、お詫びしなければならない。5月7日に知事が浅川に来て全体集会を行った。下流の皆さんには遠い場所であった。日程が急遽決まり、現地機関で手配を行った。5月の連休も挟み一部に回覧が行き届かないこともあり申し訳ないと思う。回覧のシステムを承知していなかった。他の区長会長からも同様な指摘があり長野市に確認した。市全体への配布については、常任委員会承認の上、行っている。各地区への配布は、該当区長に断り対応するよう説明を頂いている。毎月1日、15日に定期的な配布があるので、その時一緒に配布するように言われた。今後はご迷惑をかけないようにしたい。

下流の工事は、河川改修でなく維持管理工事である。昨年を行う予定であったが入札手続き等の絡みから今になった。改修工事ではない。工事についての説明がなかったことは反省する。今後は地元で説明した上、工事に入る。

Aさん

約8割の河川改修を行うのに、区間は僅か20cmの河床掘削。効果があるか疑問。浅川ダムの建設、河川改修、ポンプ能力増加、きれいな河川にしてほしいと要望をしてきた。8割の計画の中には排水能力の増強の話がない。農政の問題と思うが、土木内々の案で総合的な案ではない。

県

最下流の断面は、従前の基本高水 450m³/s に対し、ダムカットの 100m³/s で 350m³/s である。今回の計画では、1/50 確率、Cクラスの河川として 360m³/s となり、10m³/s が不足する。このため嵩上げも考えられるが、橋梁の影響と新たな用地買収が生ずる。このため従前の護岸を保護しながら掘削を行いたい。

ポンプアップは8割の計画に含まれていない。あくまでも河道での対応である。残り2割の対応は、現状では出来ていないが流域対策で対応する計画。流域対策は県企画局を中心に検討中で、7月過ぎに案が出てくることとなっている。この中には遊水地、上流の森林対策、場合によれば土地規制等が出てくる。

ポンプアップは、下流部の内水対策に関わり、答申の中にも河川改修とは別に対策を講ずる必要があるとされ、県でも対策を検討する方針としている。流域対策にも内水の問題は出てくるかもしれない。河道改修にはポンプアップの話はない。

Aさん

資料15頁に基本高水流量の図がある。この流量配分を見ると、遊水地をかなり上流にしないと効果がないと感じる。下流ではあまり効果がない。

千曲川(立ヶ花)の検討をして頂きたい。

新幹線車輛基地受け入れの際、浅川ダムの建設は、平成12年度着工、平成18年度完成の約束をしている。この約束の落とし前は付けてほしい。納得できない。上に復命して頂きたい。(拍手)

県

立ヶ花(千曲川本川の改修)の問題については、各地で質問が出されていた。知事出席の場でも出されていた。知事も受け止めていて国へ説明していくと回答している。我々もしっかりやって行かねばならない。

車輛基地の問題は上に報告していく。

Bさん

本日は知事、出納長の出席がない。治水は下流から行うもの。姿勢が間違っている。下流を馬鹿にしている。千曲川の堤防は浅川より高いが、ポンプアップを考えていない。1/50と言っているが、その間にも1/100の450m³/sの洪水は来る。ダムを造らない事しか考えてない。下流の工事は既に終わっている。ダムを造りさえすればよい。多少の河床掘削をしても何もならない。一度増水すれば泥が溜まる。毎日ドブ浚いするのか。10m³/sのための無駄仕事。

115億の大金を要し、国庫金をあてにしている。県にはこの金がないのに計画を示してどうするのか。来年度、県は280億の赤字になる。250億越えれば財政再建団体になる。金もないのに計画を立ててどうするのか。やる気がない。

県

今日の原案について意見を頂き成案としていきたい。国の補助については、知事も言っているように、国に理解を求めていく。従前の形にさらなる工事、説明は難しい。河川改修+流域対策についての課題もある。1/100の安全率は確保していく。県の財政は厳しく、年々公共事業も減額している。職員給料も減額されている。厳しい財政ではあるが、従前のダムを止めた浅川、砥川については、知事は重点的予算枠の中で取り組んでいきたいとしている。

Bさん

400億の国庫返還金の利息として、知事、出納長、土木部長等、県幹部は私財を全て出すべき、と質問しようとしたが、出席されていない。

県

400億円の半分は既にダム等で使ってきている。補助金返還については検討委員会でも議論された。返還になるのかは、これから県が示す治水計画の説明を見てからの判断となり、未定。

Bさん

返還について、東京都では、市長の責任になった事例がある。水害による人命被害が起きた場合はどうするのか。

県

水害被害が生じた場合は、過去の裁判例にもあるが、河川管理瑕疵と司法判断とによると思われる。ケースバイケースと思われる。

Bさん

瑕疵といってもダムを造れば水害にならない。知事の独断。瑕疵ではない。責任がある。瑕疵は見えない部分だが、この場合は見えている。

浅川公民館で土木部長が、360m³/s の設計では、長沼・豊野地区では越流がある見込みであり、これからは家を建てる際、盛土が必要である、建築規制をする方向との話があった。これは水害を予想している。下流の文化、経済の発展を押さえる。下流域を泥水の中の民とする発言。水の中に住んでいるから当たり前とのことであった。上流でダムを造らずに水害を無くすには、引堤や下流への遊水地建設が必要。これは上流のダムを下流に造るだけの話。上流では自然破壊だが下流では自然破壊と言わないのはおかしい。

県

遊水地、引堤が考えられるが、上流、中流部に造るか、案は出ていない。本川及び支川での対策も考えられると思う。皆さんの意見を交えながら考えていきたい。

Bさん

立ヶ花の狭窄部は、岩盤が隆起した岩盤が見える。千曲の流れでも削れない堅い岩盤。善光寺平はあれにより出来た。あのおかげでこの辺は水瓶となっている。それを壊すことは、善光寺平の破壊につながるため行わない方がよいと思う。

今、千曲川を水捨て場にしている。水を利用しようとは思わない。水を捨て、海に流そうとしている。水の利用方法を知らない。日本は東アジアのモンスーン地帯に位置し、雨が降る時は降る。乾く時は乾く。降った水を溜めて、乾いた時に利用する知恵を働かせねばならない。森林の話もあるが、山に木を植えるところはない。

山は平地より雨が沢山降るため、山は山で水を溜め、町は町で水を溜め、下流は下流で溜めなければならない。90~130mmを越えた雨は森林ではダメとの話がある。どの国道でも150mmの雨では通行止めになる。山全体から水が出て、崖崩れの危険がある。森林が保水限度を超えるからダムを造る。ダムといってもあの小さいダムは溜池程度。大げさすぎる。長野県の知事が海岸線を保護するのか。東電の西大滝ダムも取水堰、大したことない。川の全ての水を取る。砂の堆砂は大したこと無い。あれで原発1基に相当する136,000kw/hの発電をする。長野県で利用すればよいが、全て東京に持っていく。信濃川発電所により山手線が動いている。これから温暖化

防止と言われるので自然のものを有効利用した方がよい。この計画は全然ダメ。(拍手)

Cさん

河床を 20cm 掘削するとの話だが、毎年維持管理できるのか。一雨で大量の堆積がある。7年に大道橋上流を改修したが、3年もしたら柳が生えてくる。維持費はどこにある。上流がきれいに改修されれば下流に堆積するだけである。

県

下流の堆積土砂は非常に多い。上流にダムを造ら無い以上は、維持管理はしっかりやらねばダムを止めた価値がないとの意見もあった。予算が厳しい中、これからも河床の維持管理をしっかりやっけて行かねばならないと思っている。上流の土砂対策(砂防的施設)もやっけていく必要があると考えている。

Dさん

県の考え方は狂っている。450m³/s 又は 350m³/s を流すことしか考えていない。流れてきた水を千曲川の水位が高くなった時どうするかが浅川問題。この計画は、河道面積を大きくして下流に流すことだけ。こんな計画では長沼や豊野町は賛同できない。

知事との集会を浅川で実施したこと自体、流域住民とかけ離れている。長沼、豊野、せめて古里で開催すべき。浅川あたりは関係家屋も少ない。長沼は 450m³/s 流れてくれば越水する。越水しなければ破堤となる。歴史を見れば何十回と苦渋にあがってきた。浅川の水門から岩国センターまでの 7.6km 間の高低差は 3m ない。掘削で流れをよくして改修原案とは呆れる。嵩上げならまだ理解できる。出口が決まっているので、河床掘削では落差が付かない。嵩上げをやらない理由は既に改修した橋梁のやり直しをしないため。橋梁ではなく、流域住民の安心安全を考えて頂かねばならない。

100 万 m³ のダム調整量に期待してダム建設を訴えていた。100 万 m³ をたかが 10cm・20cm の掘削で対応するとは、下流住民は昔から水害に慣れている、なめていると言いたくなる。土木部長に下流の方は土台を高くしろと言われれば頭にくる。我々はその様なことをしなくて済むように、行政にお願いしている。その行政のトップが、水は上から流れるから下の人は土台を高くして安全度を高くしろと言われちゃ困る。450m³/s の流量を設定している場合、千曲川水位が浅川より高くなった場合どうするのか。7日にも知事に言ったが、10万、20万単位の遊水地を造らなければ内水氾濫は防げない。流れてきた水を千曲川で止めたら溢れるしかない。対策はポンプアップにより排水するか、ピーク時に遊水地で溜めるしかない。このことについて原案にはない。90m³/s の流域対策はどこにも示されていない。具体案を示さねばダメ。川の流れをよくするだけの改修案では、長沼、豊野町は受け入れられない。根本からの見直しが必要。(拍手)

県

450m³/s の 2 割の流域対策についてお示しできない状況。上流への遊水地案は、皆様の御意見と思う。先般も同様な意見をされていたと記憶している。遊水地を設置する方法、場所は、これから重要な位置付けになると思う。どの様な形になるか、流域対策で実施するのは難しいかもしれない。古里及び上流の未改修部分の河道改修を出来るだけ早く計画を立てて実施していきたい。

Dさん

7日に知事にもお願いしたが、長沼は東に千曲川、北西に浅川で、有史以来水害に苦労してきた。対岸も高速が出来たことに鑑み、桜堤モデル事業を市にお願いし、市で取り上げて頂いた。現在

進行中である。長沼地区全員から保険をかけるべく説明してきている。全員に御理解をして頂いたら、寄付を頂く段取りにきている。大きな屎尿処理場施設を抱えている。浅川氾濫を防ぐにはポンプアップの増強により千曲に水を出す。千曲に水を捨てても本堤の強度が必要。千曲本堤の破堤はえらいことである。千曲川工事事務所で作成したシミュレーションでは、長沼は7~8m、2階、屋根の上になる。堤防が切れない様に桜堤を行っている。この事業に予算付けして頂くよう、知事に提言したい。ダムを止めたのは知事であるので河川改修に力を頂きたい。村山以北の千曲川の影響がある箇所の堤防強化について助成措置をとって頂きたい。

県

7日にも説明があり、知事が直接お聞きしている。今日のことも報告していく。

Eさん

浅川改修計画原案の説明会に来る気はなかったが、県は改修案を出す前に、人間として、人として何かすべきではなかったか。我々がダムを止めることを知ったのは報道機関からだ。県からの説明が一回もない。皆様方や知事が来て説明を行い、ある程度の地域の人（半々程度）が納得したらいいのだが。

県

ダム中止からの経過説明がないとの話だ、知事がダム中止をして、我々としても大きな方向転換であった。議会で立ち上げた検討委員会での議論を見守り、検討委員会の方向がどの様になるか見ていた。答申を受けてダムなしとなった。この間の説明がなかった点、私共が説明責任を果たしたか反省する点である。2年間の経過を端折って今日説明した訳だが、率直に反省する。

Fさん

知事がダムを止めるのは、自然を愛する、木が大事だからというのはよく分かる。長沼は、東に千曲川、北に鳥居川、西に浅川、南に犀川、裾花川。長野市の鍋底である住民の事を考えたことか。河川の改修を行えば今迄以上に水が早く流下する。浅川が氾濫する時は各河川が氾濫する。千曲へポンプアップ出来なければ、裾花川が切れれば瞬時に田の稲は全滅である。その辺を考えて頂きたい。人間が大事か、自然の木が大事か。（拍手）

Gさん

誤解をされている方が多い。ダムを造ったら、赤沼、豊野がよけいに水害になる事ははっきりしている。当時の浅川部会委員会時に、浅川ダムがある場合と無い場合での県の昭和57、58年のシミュレーションでは、赤沼・豊野は千曲川の水位上昇により排水不能になり、水害となる。勿論千曲川本堤の破堤が一番困る。立ヶ花の狭窄部は河床掘削をして広げて頂きたい。明治5年には人力により瀬替え工事をしている。今の技術で出来ない訳がない。浅川部会で、国土交通省技官に質問をしたが、時間がないと断られた。浅川の問題の原因は千曲川であるため、浅川部会でも千曲川を改修して頂きたいと提言した。浅川の河川改修を出来るだけ早くやってほしいと共に千曲川の桜堤構想、立ヶ花狭窄部の拡幅、浚渫をして頂きたい。

県

上流にダムを造るか造らないか、下流への内水被害の影響は部会でも検討されている。千曲川はゆっくりした形でピークが来るが、浅川は流域が小さく勾配があることから、雨の振り方によっては浅川が早く出るケースもある。ただ、58年は重なり、下流で大きな被害が出た。内水については検証しなければならないと検討委員会でも出された。これからも内水についての取り組み

は大きな課題。国の本川改修計画の絡みもあるので、県としても言っていきたい。

Bさん

立ヶ花狭窄部の改修は、下流の豊田村村民が知らなかった。瀬替えをしたら上流の流れは良くなったが、今まで水害がなかった所で水害が出た。安易に行くと、下流へ、下流へと水害が行く。うかつには出来ない。政策の転換と言うが、約束を破っての転換だと、長野県は無駄となる。

色々お伺いしたが、私共、総体的に、この話は聞きおく程度と思う。私共の地区としては長野市と運命共同体。これからよく相談をしながら進んでいく。長野市がいいと言わない限り、私共もいいと言わない。(拍手)かなりの方から拍手を頂いた。この方向で地区として進めていく。上に報告して頂きたい。(拍手)